



読書サポーター・ぼけっと 活動案内

読書サポーター・ぼけっとは、子供達にもっと本を好きになって欲しい！本との出会い、本って楽しい！を見つけるお手伝いをする、保護者のボランティアです。

平成 16 年度に「司書ボランティア」「読み聞かせスタッフ」として始まった活動ですが、26 年度からは「読書サポーター・ぼけっと」と、子供達により身近に感じてもらえるように名称を変更し、オリジナルのカンガルーのキャラクター「ぼけっとちゃん」なども作成しました。メンバーも皆、和気あいあい楽しみながら活動しております。

活動内容は大きく分けてふたつあり、**読書タイムでの読み聞かせと、楽しい読書環境作り**を行っています。学校の先生方や司書と連携し、「読書を通して子供達に何かを伝えたい」と、思いを込めて、どうすれば楽しく本に親しめるのか、保護者として出来る事を考え、話し合いながら活動内容を決めていきます。

平成 26 年度現在、26 名の保護者が参加しています。月に 1~2 回の活動ですが、活動中のメンバーを見つけて「ぼけっとさん」と呼んでくれる子供達もいて、とてもうれしく思います。



今までの主な活動内容

読書タイムでの読み聞かせ（平成 16 年度～）

- ・年間 15 回程度、読書タイム(8:20~35)時に、各クラスにて絵本・物語などの読み聞かせの実施
- ・読み聞かせした本のリストの作成・配布

「ゾロリ・キャンペーン」の実施（平成 16 年度～）

- ・1 年生に向けて、毎年 2~3 学期に実施
- ・キャンペーンの告知、台紙等の作成
- ・読みやすく、子供達に人気のある「かいけつゾロリ」シリーズを題材として使用し、シリーズの中から複数冊続けて読む事で、読書習慣が身に付けばと考案された企画
- ・シリーズのどの作品が多く読まれたのか人気投票を実施し、ランキングで結果を紹介

「ことばスキル検定：本読みレシピ」へのサポート対応（平成 22 年度～）

- ・「本読みレシピ」の分類に対応した形の「おすすめ本リスト」作成 → 例年 10 月初旬に配布

「おはなし集会」の実施（平成 23 年度～）

- ・読書タイムを利用して、年 1 回(12 月)開催
- ・全校児童を対象に、集会の形式で体育館にて読み聞かせを実施
- ・読み聞かせする作品の選定と、会の進行と演出の計画
- ・読み聞かせの後に、担当教諭の進行で各学年の代表児童による感想の発表

「分類番号から本を探そう」の実施（平成 25 年度企画）

「1 年生向け 図書分類オリエンテーション」の実施（平成 26 年度企画）

- ・「図書の分類番号の大切さ」と、「本を返却する為の場所が分からない児童が多い」との司書の話を受けて考案された企画
- ・図書館利用において、分類ラベルの意味を知る事の大切さを分かりやすく説明
- ・背表紙の分類ラベルに注目して、グループで指定された本を書棚から探す簡単な遊びの実施

「ひらめき！ 本選び」の実施（平成 23・24 年度企画）

- ・「おすすめして読ませる」から、「自分で探して読んでみる」を目的として考案され、児童が主体となり、提示されたお題から連想する言葉でマインドマップを作成し、たどり着いた言葉から自分の興味のある本を一冊探して読んでみる企画

「親子読書」活動への協力（平成 18 年度企画、平成 25 年度～）

- ・各メンバーが家庭において実践している読書活動について、掲示物を作成して紹介
- ・平成 25 年度より学校の取組として行われている「親子読書」への積極的な参加

2 階ホール ・ 3 階本棚付近の装飾品の作成

- ・年 3～4 回、季節に合わせてモビール等の作成・展示

本棚の整理整頓・清掃

- ・来校した際に各自で書棚を確認し、整理整頓
- ・年 1 回程度(夏休み中)、本棚とその周辺の大掃除の実施

蔵書点検への協力

- ・司書と図書担当教諭主導で行われる、蔵書の所在確認作業への協力

